種目	国　語

採　　択　　理　　由

光村図書出版株式会社「国語」

○　「読書紹介冊数」が多く、読書に対する意欲を喚起するよう工夫している。文学的文章の教材文は共感したり想像したりする力を養えるものが多く、我が国の言語文化に親しめるように配慮している。豊富な言語活動例を年間を通して適切に配置しており、文法や語句に関する知識などの言語事項の系統性についても配慮している。

○　情報化社会や多様性などに関わる教材文が新たに加わり、興味を持って学習できるものになっている。また、説明的文章や古典教材に関する資料が豊富なため、本文の内容を視覚的に捉えることができ、興味・関心を高めることができるよう工夫している。さらに、言語事項に関する教材が充実しており、「言葉」を大切にする指導を重点化できるよう配慮している。

○　「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の言語活動を発達段階に応じて適切に配置し、３年間を通して語彙力を高めることができるように工夫している。デジタルコンテンツにより言語活動例を具体的に提示することで、「話すこと・聞くこと」に関する学習活動をイメージし、主体的に学習に取り組み、自己の学びについて振り返ることができるように配慮している。古典教材における口語訳や現代仮名遣いに関する記述も、学年の発達段階に応じて配慮している。

種目	書　写

採　　択　　理　　由

光村図書出版株式会社「中学書写」

○　主体的に学習に取り組むことができるように学習の進め方を提示し、「目標」および「振り返ろう」という欄を設定したり、毛筆の学習内容と関連させた別冊の硬筆練習帳を設けて普段の生活に生かせるようにしたりして、知識・技能の定着を図り自己の変容を確かめられるよう配慮している。また、地域や身の回りの文字を取り上げた資料等を通して、文字文化への理解・関心を高める教材から手書きの価値について考えを深められるようにするとともに、SDGｓの視点から書写の学習の中で取り組むことができる環境に配慮した身近な活動例を示す工夫をしている。

○　毛筆教材の主要な手本をほぼ原寸大で配置する一方、任意の文字で手本を印刷できるデジタル教材により各校の実態に応じて活用が可能になるようにし、学習指導書に付属した手書き文字で生徒の氏名手本を作成できるソフトや、左利きの運筆動画などにより、特性に配慮した指導が容易になるように工夫している。さらに、一教材一事項で構成して学習のねらいを焦点化することで効率的に力をつけられるよう配慮し、毛筆教材では朱墨や筆使いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫している。

○　情報の軽重を考えたデザイン構成、ユニバーサルデザインやジェンダーバランスに配慮した紙面編集、教科書紙面の二次元コードによる運筆動画などの資料、独立した編集になっている「書写ブック（硬筆練習帳）」「中学書写スタートブック」「書き初めマスターブック」「中学生のための漢字字典」「日常に役立つ書式」などにより、自分自身で情報を活用しやすく、誰もが使いやすいものとなるよう工夫している。

種目	社　会（地理的分野）

採　　択　　理　　由

株式会社帝国書院「社会科　中学生の地理　世界の姿と日本の国土」

○　各小単元に、地理的な見方・考え方を働かせるまとめや適用問題が掲載されており、個の到達度に応じた学習に対応できるよう工夫している。また、「技能をみがく」という小見出しを設け、資料やグラフ等の読み取り方や、略地図や図、表の作成方法など、地理的な技能を生かして課題を発見したり解決したりすることができるよう工夫している。さらに、随所にＳＤＧｓの１７のアジェンダが掲載されており、地理的事象と関連付けることで、持続可能な社会づくりの視点から課題について考えやすいよう配慮している。

○　中単元（節）の構成が、「課題発見→追究→まとめ→振り返り」の、探究のプロセスに基づいており、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、情報の収集方法やまとめ方など課題解決の方法を学ぶことにもつながるよう工夫している。世界・日本の諸地域については、それぞれの地域の特色を適切にとらえた主題を設けるとともに、諸地域の学習全体から見て多様な視点から学習できるよう、主題の設定に配慮している。また、東北地方の単元では、東日本大震災の学習を通して郷土福島への理解を深められるよう工夫している。

○　写真などの視覚資料を効果的に配置し、学習への興味・関心を高め課題発見につなげられるよう工夫している。また、二次元コードを掲載し、クイズや動画によって理解が深まるよう工夫している。さらに、配色を工夫したり、本文中の漢字にルビを多く付したりして生徒の多様性に配慮し、ユニバーサルな表記となるよう工夫している。

種目	社　会（歴史的分野）

採　　択　　理　　由

東京書籍株式会社「新編　新しい社会　歴史」

○　社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせた深い学びが実現できるよう、学習の過程に適宜「見方・考え方」マークを付したり、思考力・判断力・表現力を育むために、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設けたりするなど、思考を整理し学びを深められるよう配慮している。

○　単元を貫く探究課題を設定し、単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう配慮している。１単位時間では、導入において、自ら学習課題を設定することで学習の動機付けや学習の見通しの方向付けを図り、展開では、歴史的な見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察できるよう工夫しているとともに、まとめでは、学んだことを振り返り、思考・判断したことを自分の言葉で説明したり議論したりして探究課題の解決に取り組めるよう配慮している。また、導入・展開・まとめの学習段階に応じて活用できるデジタルコンテンツを用意することで、個別最適な学びや協働的な学びが進められるよう工夫している。

○　本文や資料、確認問題、年表スケールインデックスや二次元コード等を各ページの決まった位置に配置して学習の流れを可視化したり、本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付したりするなど、学習に取り組みやすくする工夫をしている。また、各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けるとともに、デジタルコンテンツでは既習事項を振り返るなど単元全体をイメージしやすい学習コンテンツを用意して、小・中の学習を円滑に接続できるよう配慮している。

種目	社　会（公民的分野）

採　　択　　理　　由

東京書籍株式会社「新編　新しい社会　公民」

○　生徒一人一人の学びの実態に合わせて適切な指導を行うことができるよう、単元構成を工夫している。具体的には、導入では、教科の本質に関わりつつ興味・関心を高める発問を設定して、展開では基礎的な知識を身につけることができるようになっている。まとめでは、知識及び技能を確認する内容、思考力・判断力・表現力等を確認する内容、さらに深く追究する内容と、個に応じた学習ができるように内容を構成し、社会科が苦手な生徒、さらに発展した内容を学びたい生徒のどちらにも対応できるよう工夫している。思考力、判断力を問う設問では思考ツールを用いて考えを深めることができるとともに、多面的・多角的に考える資料選択を行うことができるようになっている。

○　単元を貫く課題設定、１時間ごとの課題解決、まとめの活動という学習の進め方が各単元で共通しており、学び方を学ぶことができる。また、単元を貫く課題及び各節の課題は、身近な問題から効率・公正の視点から考えさせる内容となっており、社会に対する見方や考え方が自然に身につくよう工夫している。また、デジタルコンテンツが充実しており文章が平易で読みやすく、自分で学習に取り組むことができるよう配慮している。

○　資料が読みやすく配列されており、内容も充実している。配色もユニバーサルデザインを意識している。教育のICT化に最も対応しており、各ページに二次元バーコードを掲載し、目的の資料へたどりつくことができるようになっている。その内容も「知識の定着」「思考力の醸成」といったように充実している。さらには巻末に中学校と高校の学習のつなぎを意識した記載もあり、小中高の学びの連続性を担保することができるように配慮している。

種目	地　図

採　　択　　理　　由

株式会社帝国書院「中学校社会科地図」

○　学習活動が、自主的・発展的に進められるように、自然環境のあらましや様々な産業に関する地図資料を精選している。さらに、テーマに沿った地図のコーナーでは、その主題図に関する課題を設け、その課題に沿って資料の読み取りを行うことで、自分の考えの根拠をはっきりさせながら学習ができるよう工夫している。また、世界や日本の諸地域ごとに、多角的に地図や資料を見開きで配置して、各地域の特色を偏らずに理解することができる。また、地理的分野のみならず、歴史的・公民的分野に関連する資料も配置し、様々な情報を生徒自身の課題に沿って効果的に調べられるよう配慮している。

○　地図帳の最初に凡例の見方や地図の約束など、地図の使い方や索引の使い方などを分かりやすく解説していたり、各地域に関する課題を提示していたりと、主体的に地図の読み取りの学習ができるよう工夫している。また、テーマに沿った地図のページでは、それぞれの地図が小縮尺で見にくくならないよう分量も精選し、学びやすいよう配慮しているだけでなく、地域的特色が理解できるよう、世界・日本の諸地域ともに大観を捉えた各地域の地図を最初に配置することで、興味・関心をもたせる工夫をしている。

○　地域ごとに鳥瞰図を用意しており、図の中に、その地域の特色が一目で分かるよう写真やイラストも配置して、印象深くなるよう工夫しているだけでなく、各地域の資料のページには、二次元コードで簡単に読み取れるデジタルコンテンツを用意し、学習の動機づけや自主学習を容易に進めることができるよう工夫している。また、テーマに沿った地図には、歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう記号を明示することにより、他分野でも使いやすいよう配慮している。

種目	数　学

採　択　理　由

東京書籍株式会社「新編　新しい数学　～MATH CONNECT 数学のつながり～」

○　１単位時間ごとに課題がはっきりしており、「Ｑから始まり①②・・・」と思考を段階的に進められるステップを用意し、生徒が考えやすくなるよう構成している。また、解決の見通しを考えたり、考えを伝え合う活動をしたりなど、主体的に授業に取り組むことができるよう工夫している。

　デジタルコンテンツを多く掲載し、それらのコンテンツを自ら活用しながら試行錯誤することができ、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。また、一人一人が課題を繰り返し解く際、知識・技能の定着を図るために問題に対応したフラッシュカードや、ヒントと解答、類題も設定されており、個別最適な学びにも対応できるよう工夫している。さらに、「補充の問題」や「問」など、習熟を図るための問題が用意され、互いに関連し合う構成になっているため、繰り返し練習することで、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるようにしている。本文や章末に問題を豊富に用意して、問題解決の考え方や方法の理解が深まるように工夫している。

○　章のとびらでは、生徒が疑問に感じる場面を提示し、追究意欲を高めることで、「主体的な学び」につなげるとともに、多くの章で「単元を貫く題材」を用い、学びが連続し、生徒が主体的に解決していく展開になるよう工夫している。また、「問」「基本の問題」「章末問題A」にチェックボックスを配置することで、内容の理解が十分でない生徒が自ら確認でき、繰り返し練習に取り組む機会を設け、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるように工夫している。第1学年では、デジタルコンテンツだけではなく、実際に紙教具を使って観察、操作を行うことで、空間図形の見方を深められるように工夫している。

○　キャラクターの吹き出しは、生徒の目線で気づきや考えを引き出すきっかけを示している。また、既習と同様に考えることを促す「同じようにして考えると」や発展的な学習を促す「それなら」を示し、見通しをもって問題解決ができるよう工夫している。デジタルコンテンツも充実しており、「章のとびら」や「深い学びのページ」に対応した動画やワークシート、問題解決や内容を理解する場面で利用できるシミュレーションが豊富にあり、生徒一人一人がコンテンツを利用しながら主体的に学習に取り組めるよう工夫している。また、フォント、太さ、文字の強調、挿絵、図、表、写真などの表現や提示の仕方、量が適切であり、見やすく分かりやすい構成になるよう工夫している。

種目	理　科

採　　択　　理　　由

東京書籍株式会社　「新編　新しい科学」

○　一人一人が自分の考えの変容を知ることで自己肯定感を高め、主体的に学ぶ意欲が高まるように単元や章の始めと終わりに学習内容に関する本質的な問いかけを設定する等工夫している。また、生徒個々の興味・関心や発想、考えを生かして課題解決を進めていくことができるよう、授業総時数の９割程度で無理なく指導できるような時数配分・学習指導計画を配慮している。さらに、定着度が低く、つまずきやすい内容は「例題」として取り上げて知識・技能の定着を図り、章末・単元末では基礎・基本の確認と活用型の問題との両方を掲載することで、習熟度に応じて選択して学習することができるよう配慮している。

○　観察・実験の器具や材料は一般的なものを使用し、短時間で有効に観察・実験を実施できるようになっている。また、観察・実験で使用する実験器具等は、現在使用している実験器具等とほとんど同じであり、新たに購入・準備する必要がないよう配慮している。また、多くの写真やイラスト等の視覚的資料を多く掲載している。必要な情報が文章としても十分に記載され、文章と写真のバランスがとられるよう工夫している。また、観察・実験によっては「別法」も提示されているため、さまざまなアプローチから多面的に考えることができるよう工夫している。さらに、単元の配列は身近な自然を活用しながら学ぶことができるよう、季節的な学習の適期や教材の入手時期だけでなく、各単元の学習内容の関連性や、学年をまたいだ学習内容の関連性についても配慮している。

○　見開きの指導時数の目安を１時間として構成し、下部に学びのフローチャートを掲載することでどの活動を行っているのか確認することができる。さらに、学習のまとまりがわかりやすくなっており、生徒が授業の見通しをもって取り組むことができるよう配慮している。

種目	音　楽（一　般）

採　　択　　理　　由

株式会社教育芸術社「中学生の音楽」

○　表現領域と鑑賞領域を関連付けて教材を配列し、音楽活動を通して音楽を形づくっている要素を無理なく捉え、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動を行うことができるよう工夫している。また、福島県に関する教材を含む豊富な楽曲を取り扱うことにより、各学校や生徒の実態に応じた柔軟な指導計画の作成が可能となるよう配慮している。

○　意欲をもって主体的に学習を進められるよう、題材の目標につながる「考えたいポイント、学習に必要な情報」を明確に示すよう配慮している。また、学習活動を進める上で、知覚・感受したことをもとに「思考、判断、表現」を行うためのヒントが示され、主体的・協働的に学習に取り組めるよう工夫している。

○　〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素が、学習活動における「思考、判断、表現」の拠り所となるよう各教材に適切に示している。また、興味・関心に応じて活用できる資料をデジタルコンテンツに豊富に用意しており、これらを活用することによって、意欲をもって主体的に学習に取り組み、他者と協働しながら音楽表現を生み出す学習の充実が図られるよう工夫している。

種目	音　楽（器楽合奏）

採　　択　　理　　由

株式会社教育芸術社「中学生の器楽」

○　キャラクターの吹き出しによって「思考・判断・表現」を行うためのヒントを示すとともに、「学びのコンパス」として学習の手立てを示し、実際に演奏して確かめながら思考力・判断力を育む場面を設定したり、学習内容及び方法、考えたいポイント、「知識・技能」に関するコラムや「Ｑ＆Ａ」、専門家からのメッセージなどを取り入れたりして、主
体的に学習が進められるよう工夫している。

○　豊富な楽器の写真やプロの演奏家のメッセージなどにより、楽器への興味・関心・意欲を高めるとともに、奏法に関することや礼儀に関わるコラムなど、生活の中にある様々な
音や音楽へ親しみや実感をもって接することができるよう工夫している。

○　ページごとに完結するように楽譜や解説を配置し、効果的な写真の活用や活動の具体的なヒントが分かりやすく、生徒の実態に合わせ段階を踏んで基礎的な技能の習得につながるよう工夫している。

種目	美　術

採　択　理　由

開隆堂出版株式会社「美術」

○　各題材において、評価の観点や育てたい資質・能力が授業段階ごとに示されており、「学習の目標」と照らし合わせながら、その時点でどのような力を伸ばしていけばよいかわかるよう、全編において編集が工夫されている。

　掲載作品については、著名な作家作品はもちろん、本県の「はじまりの美術館」を掲載しており、福祉とアート、美術を通した共通理解に気づかせ、生徒作品や生徒がメディア等で親しみをもっている作品など、多種多様な作品を掲載している。また、原寸大の作品写真が多く掲載され、臨場感をもって鑑賞できるとともに、細部の表現などを詳しく観察できるよう工夫され、生徒の見方や感じ方を深めることができるよう工夫している。

○　すべての題材が教科横断的に学習できるように設定されており、既習事項や学んだ知識を自己の表現活動に生かしたり理解を深めたりできるよう工夫されている。また生徒同士の対話を通して、新たな気づきとともに発想・構想を広げたり、深めたりすることができるような題材設定に配慮している。

○　表紙は、光沢の有無や凹凸のある特殊印刷を施しており、手に取った生徒が作品の質感までも想像でき、興味・関心を高めるよう工夫している。また、生徒作品をはじめとする掲載作品の写真が大きく、発想・構想段階のものと完成作品を同時掲載していることから、題材に対するイメージを比較したり確認したりしやすいよう工夫している。

　さらに、各巻の巻末には、生徒が主体的に学ぶことができるように、資料や美術用語の解説がまとめられており、生徒が興味・関心を持続させながら制作に取り組めるよう配慮している。

種目	保健体育

採　択　理　由

東京書籍株式会社「新編　新しい保健体育」

○　各学習項目において関連する項目や単元、他教科とも関連する単元などについて表記していて、教科横断的な学習が進めやすいように工夫している。体育分野では、運動やスポーツの多様性・運動やスポーツの意義や効果と学び方、安全なスポーツの行い方・文化としてのスポーツの意義について各学年の発達段階に応じて学ぶことができるとともに、保健分野では「健康な生活と疾病の予防」や「心身の機能の発達と心の健康」の内容が他書に比べ多く掲載されており、保健体育科の目標である、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成できるように工夫している。また、今日的な課題である性の多様性についても、章末資料として詳しく掲載しているほか、東日本大震災に関する内容を９ページに渡って掲載し「放射線と健康」について、１単位時間として学習できるように編成しており、福島の教育に欠かせない放射線と健康についても学習できるように工夫している。

○　全学習項目で「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の流れになっており、日常生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて話し合う活動を重視した学習活動を展開することができ、学んだことを生活に生かし、よりよい生活にするための改善点を見つけ出すことができるように工夫している。また、巻頭・巻末資料や読み物、章末資料も生徒自身が自分のこととしてとらえることができるように工夫している。さらに、これからの生活において十分な学習機会が必要である熱中症に関して、本書では「熱中症の予防と手当（発展）」について、気温の上がり始める夏前に学習できるよう単元の配列を工夫している。

○　学習内容の本文に沿って豊富な資料を配置している。また、感染症については章末資料において感染症との闘いの歴史から、現在や未来の感染症への向き合い方を考えることができるように工夫しているほか、巻末スキルブックにおいて、デジタルコンテンツによる動画を多く活用し、実際に「見ること」や「実習」によって学習効果を高めることができるように工夫している。

種目	技術・家庭（技術分野）

採　　択　　理　　由

東京書籍株式会社
「新編　新しい技術・家庭　技術分野　未来を創るTechnology」

○　知識及び技能に関する情報の記載が多く、生活と技術についての基礎的な理解を図ることができるよう工夫している。また、学習内容に沿って主体的・対話的に取り組むことができるよう「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」という活動を設け、より深い学びを促す工夫をしている。さらに、各学習内容に応じて、「目標」「学習課題」「振り返ろう」を示し、学習の目的を達成するために内容について詳しく丁寧に編成している。多くの事例を掲載することで、自らの生活を振り返って具体的に問題を発見し、課題を設定することができるよう工夫している。

○　生活や社会の中からの技術に関する身近な問題を取り上げ、それに対しての解決例を実践しやすいように分かりやすく紹介しており、具体的にイメージしながら進めることができる工夫をしている。学習のまとめでは、各観点について振り返ることができるように工夫している。さらに、「生活や社会を支える技術」の内容が豊富であり、製作・制作・育成に関する基礎技能に関し、デジタルコンテンツも含めて内容が充実しており、主体的に学習を進めることができるよう配慮している。

○　二次元コードによるデジタルコンテンツの内容がとても分かりやすい。道具図鑑や材料図鑑などのコンテンツにより、紙面に載せきれなかった情報がタブレット端末で見ることができる。さらに、機構の動きや電気回路の構成、設計図の３Ｄ画面など、シミュレーションのコンテンツも設けており、生徒も教師も必要な時、興味をもった時に自由に選択・活用できるように工夫している。領域毎に「導入」「基礎技能」「問題解決例」「まとめ」と構成を統一し、学習指導要領に即した流れになるよう配慮している。授業のそれぞれの活動の順に沿ってページ構成を統一しており、見やすい紙面構成に配慮している。

種目	技術・家庭（家庭分野）

採　　択　　理　　由

東京書籍株式会社
「新編　新しい技術・家庭　家庭分野　自立と共生を目指して」

○　６編からなる内容構成により、学習指導要領の内容を網羅しながらも精選しており、学習の充実・発展を図ることができるよう工夫している。内容項目にある課題と実践についても、自分の考えをもち、根拠をはっきりさせながら学習を進めたり、キャリア教育、ＳＤＧｓと関連させた学習を展開したりできるよう配慮している。

○　「いつも確かめよう」のページに、実習や生活の中で必要な基礎技能をまとめることで、自力解決の手助けとなり、学んだことを実践に生かそうとする意欲を高めることができるように工夫している。また、充実した内容のデジタルコンテンツにより、動画での確認も可能で、何度も繰り返し視聴しながら学習できるように配慮している。

○　「目標」「生活に生かそう」「考えてみよう」「まとめよう」の編成で、生徒の心身の発達段階に適応し、学習意欲を高め、個に応じた指導に柔軟に対応できるよう工夫している。また、「せいかつメモ」では、発展的な内容を補足しており、生活経験や地域環境に適応し配慮している。

○　ＵＤフォントを用い、可読性を高めるよう配慮している。弱視生徒への配慮として、配色とデザインについても工夫している。また、ふりがなには、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用い、読みやすくなるよう配慮している。

種目	英　語

採　択　理　由

東京書籍株式会社「NEW HORIZON English Course」

○ 各Unitでは、コミュニケーションの目的・場面・状況が理解できるように挿絵や写真を効果的に使用するとともに、Activityと称した活動を設け、４技能５領域をバランスよく活用できるよう配慮している。また、本文の内容について意思や情報を伝え合うことができるように、対話的な学習を設けるとともに、対話的な学習後には表現活動を取り入れるなど各領域を効果的に統合することで思考力・判断力・表現力の育成に配慮している。さらに、知識・技能を習得し活用できるように、Unit、Real Life English、Stage Activityの配列を工夫している。

○　今日的な課題であるSDGs、多様性・人権、防災・安全、環境・資源エネルギーを題材として取り上げ、「地球市民」に必要な資質・能力を身に付けることができるよう工夫している。また、巻末が充実しており、CAN-DOリストで３年間で到達すべき５領域の目標を確認しながら、学びを進めることができるだけでなく、帯学習用のスモールトークの題材やUnit Activity Plus、Word Roomも充実した内容でまとめられている。さらに、２次元コードが２７７箇所あり、生徒が家庭でも主体的に学ぶことができるよう工夫している。表紙裏のデジタルコンテンツは、教科書１冊から、世界を広くかつ深く学べるよう工夫している。

○　生徒の興味・関心を高めるデザインの工夫や豊富な写真、イラストが効果的に配置されており、１ページあたり１時間で指導が展開できるよう工夫している。単元末活動（Unit Activity)を学びのゴールと位置づけ、単元内の諸活動を単元末の活動につなげられるよう工夫している。小中接続期（１年の夏休みまで）に扱う文法事項を減らし、小学校英語の基礎的内容の振り返りをていねいに扱っている。また、２・３年では、各Unitのタイトルを単元を貫く「問い」とし、単元の学習を通じて、到達点を確認することができる。巻末には問いに対応した書き込みスペースがあり、振り返りや自己評価ができるよう配慮している。

種目	道　徳

採　　択　　理　　由

光村図書出版株式会社「中学道徳　きみが いちばん ひかるとき」

○　「現代的な課題」に対応した教材を全学年に多数配置し、特に「いじめ問題」については、いじめに対する考えを実感を伴って自分事として捉え、深く考えることができるよう配慮している。具体的には、各学年の「いじめを許さない心について考える」ユニットに「まなびをプラス」という教材を合わせて複数時間で取り組めるよう構成している。これにより、福島市の『学校教育指導の重点』である、「生命を尊重する心」「他者を思いやる心」といった「人権」に重きを置いて考えられるよう工夫している。

　また、対話的な学びを大切にするために、道徳的な課題が生じている場面や論点に即した、挿絵やイラスト、または短い文章で端的に示した教材を配し、話し合いの焦点化を図るとともに、話し合いの時間が十分に確保できるよう工夫している。他教科やＳＤＧｓ等との関連を記号で示すことで、教科等横断的に学習が進められるよう配慮している。

○　各教材が、「考え・議論する道徳」に重きを置いた構成で、考える視点が多く用意されており、多面的・多角的な見方で道徳的価値について迫ることができるよう工夫している。具体的には、教材の始めや終わりに「考えよう」のコーナーが設けられ、１時間の流れをイメージしやすいものにしている。また、「見方を変えて」や「つなげよう」というコーナーを各教材に設定し、他者の立場や視点から考えたり、授業で学んだことと日常生活などをつなげたりすることで、考えをより深化させられるよう工夫している。

○　読み物教材の挿絵を中心発問の場面に必ず示したり、説明内容を解説するための写真や図・表・グラフを必要な箇所に配置したりすることで、本文の内容理解を促すよう配慮している。また、各学年ともに付録の「まなびの道具箱」で思考ツールが紹介され、個人で考える時や話し合いの時に、分類・整理したり、自らの考えを広げたりすることに役立つよう工夫している。